

教育課程実践モデル事業「第1回益田翔陽高校授業力向上検討協議会」(29.9.20)

本校は、本年度と来年度、島根県教育委員会の単独事業である「教育課程実践モデル事業」の委託を受け、教員の授業力を向上させ、次世代にふさわしい教育活動の展開プログラムを検討することとしている。

9月20日(水)有識者(運営指導委員:島根大学准教授・益田市立高津小学校校長・益田市立高津中学校校長・島根県教育委員会教育指導課指導主事・西部農林振興センター益田事務所所長・西部高等技術校校長・益田市健康増進課主任)に出席を賜り、「第1回益田翔陽高校授業力向上検討協議会」を開催した。

7名の教員による授業公開に42名の小・中学校、島根県内の高等学校の先生方及び保護者にご来校をいただいた。本当にありがたいことで何とお礼を述べたらよいか言葉が見つからない。

私たちは、授業力向上について「日々改善」の意識を常に持って業務にあたらなければならない。

このことは、私の教員生活を振り返っての反省から感じている所である。授業を多くの人々(教員・保護者・地域住民)に公開してこなかったこと<反省>。独りよがりになることなく、日々改善すべきが授業であったにもかかわらず、実践してこなかったこと。

授業改善は、教員が「凡事徹底」しなければならないことである。

本校は、今後も多くの方に授業を公開して授業の「日々改善」を継続できる学校でありたい。



